

平成 30 年度 四国中央市ボランティア市民活動センター 事業報告書

1 ボランティア市民活動センターの運営（市が直接運営）

平成 30 年度は職員 3 名に加えて三島高校生 7 名からなるボランティアスタッフ（通称：ボラ 7）が各種研修会や交流会の運営をサポートするほか、それらの体験談を掲載したボラ 7 通信を創刊するなど、新たな広報手段を取り入れることにより、更なる市民参加と協働によるまちづくりを促進した。

①ボランティア情報の収集と提供

○情報の収集

- ・愛媛ボランティアネット、愛媛県社会福祉協議会、財団等からの助成金情報、ボランティア・イベント情報等に関するパンフレット等の収集

○情報の提供

- ・センターでの掲示(掲示板、陳列台、パンフレット台等を活用)
- ・広報紙に掲載して提供(研修会や交流会開催などの周知)
- ・ホームページで公開・提供、随時更新

②ボランティア相談窓口の設置

- ボランティア活動に関する各種相談・需給調整を実施（※利用状況表参照）

③広報・啓発活動

- センター紹介用リーフレットを作成
- ボラ 7 協力のもとボラ 7 通信を創刊
- ボランティア情報番組「やってみんの」をコスモステレビ内で放送
- ボランティアさんからこんにちは♪チラシをホームページに掲載
- 広報紙への記事等の掲載（センターの紹介、講演会、開講講座等）

④人材の育成と養成

○ボランティア市民活動研修会の開催

回	月/日	内 容	参加人数
1	8/27(月)	子どもたちの未来に希望を 講師：モヨ・チルドレン・センター主宰 松下照美 氏	52
2	11/14(水)	青少年の国際感覚の育成とともに 講師：四国中央市国際交流協会理事 星川正 氏	30
3	11/21(水)	アイルランドのボランティア 講師：地域振興課国際交流員 チェルシー・コリンズ 氏	20
4	11/28(水)	アメリカのボランティア精神 講師：学校教育課(ALT) ギャヴィン・ギャロウェイ 氏	22

5	12/5(水)	得意技を活かしてボランティアを考えてみませんか 講師：愛媛大学教授 前田真 氏	29
	会場：市民交流棟 2階 会議室 時間：13:30～15:00		153

○市独自のボランティアチャレンジプログラムの開催

- ・受入可能事業所等の情報収集
- ・ボランティア活動への参加促進

⑤ボランティアの交流とネットワークの促進

○「ボランティア市民活動交流会」の開催

日時：平成30年10月6日(土)10:00～12:00

場所：市民交流棟2階

参加33団体 計118名 *活動紹介及び物品販売等17団体

⑥ボランティア活動に関する調査研究

○第3次ボランティア市民活動推進計画に反映する実施項目の協議を行った。

○多様なニーズに対応・支援できるセンター機能の強化・充実に努めた。

⑦ボランティアへの場所・設備の提供

○市民交流棟内の会議室、ロビー等の貸出し

○機材等貸出し、設備の充実化

ボランティア市民活動センター利用状況表

	活動状況		機材等使用状況		
	H30年度	H29年度		H30年度	H29年度
個人登録者	144人	127人	コピー機	337件	292件
団体登録	183団体	172団体	印刷機	153件	100件
	6,445人	6,363人	ファックス	4件	9件
マッチング	590件	563件	パソコン	47件	28件
来所者	2,816人	1,676人	ビデオカメラ	17件	
電話受付	4,055件	3,028件	プロジェクター	17件	
メール受付	545件	240件	マイクセット	9件	
市民交流棟利用	349件		ロッカー	316件	212件
ろうあ者訓練室	191件	219件	大型プリンター	25件	27件
郵便	1,443件	1,203件	自動穴あけ	4件	5件
訪問	213件	163件	裁断機	32件	42件

⑧災害ボランティアの育成

○災害ボランティア活動研修会の開催

日時：平成31年3月2日(土)15:00～16:30

場所：消防防災センター3階大会議室 参加者：約80名

内容：西日本豪雨災害の被災地支援者らによるシンポジウム

パネリスト：大洲市社会福祉協議会 黒江雄一 氏

NPO法人 ひうちなだ 佐藤温美 氏

一般社団法人 OPEN JAPAN 肥田 浩 氏

コーディネーター：NPO法人 今人倶楽部 高塚政生 氏

⑨災害ボランティアバスの運行

平成 30 年度西日本豪雨災害により甚大な被害を受けた大洲市を支援するために、市と社会福祉協議会の共同により 3 回運行した。センターはボランティア募集の窓口となり、受付やボランティア保険への加入促進、作業内容の情報提供等を行った。

運行日	参加者	活動内容
7 月 22 日 (日)	29 名 (企業 15 名)	石材店舗兼住宅において、泥だしや家財道具等の処分、製品や工具の水洗い等
8 月 5 日 (日)	15 名	被災後約 1 ヶ月間手付かずだった民家において、散乱した家財道具等の運び出しと集積場への運搬
9 月 22 日 (土)	22 名	民家の側溝に溜まった泥だしと被災家屋の土壁はがし

2 ボランティア教育・活動支援

低学年のうちからボランティア教育を行うことにより次世代に活躍するボランティアを育成することを目的としたボランティア学習を市内の小学校等で実施した。また、ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動が出来るようにボランティア保険の加入を呼びかけた。

①ボランティア学習

実施団体	回数	学習内容
金生第一小学校	6 回	目的「障がい者への理解」 ・視覚障がい者の学習 アイマスク体験・盲導犬への理解・点字。 ・聴覚障がい者の学習 聞こえない・伝える体験、要約筆記・手話 ・肢体不自由者の学習 当事者交流・車いす体験
土居小学校	6 回	点字学習
長津小学校	3 回	目的「障がい者の方との交流を通じて自分たちができることを考え、伝え合う心を学ぶ」 聴覚障がい者の学習 聞こえない・伝える体験、要約筆記・手話
北小学校	8 回	目的「人と人との支え合う協働のまちづくり」 ・視覚障がい者の学習 アイマスク体験・盲導犬への理解・点字。 ・聴覚障がい者の学習 聞こえない・伝える体験、要約筆記・手話
今治精華高等学校	1 回	手話学習

②講座の開催

○傾聴ボランティア養成講座の実施

市民交流棟 会議室1 平成31年1月9日～2月13日／6回／受講者127名（延人数）

③ボランティア保険の加入促進

○新しくボランティア登録をされた個人・団体に保険の加入を促進した。